

平成29年第4回東大和市議会建設環境委員会記録

平成29年6月12日（月曜日）

出席委員（7名）

委員長	根岸聡彦君	副委員長	荒幡伸一君
委員	尾崎利一君	委員	二宮由子君
委員	関田正民君	委員	関野杜成君
委員	中野志乃夫君		

欠席委員（なし）

委員外議員（1名）

議長 押本修君

議会事務局職員（5名）

事務局長	鈴木尚君	事務局次長	並木俊則君
議事係長	尾崎潔君	主任	櫻井直子君
主事	須藤孝桜君		

出席説明員（なし）

会議に付した案件

- （1）座席の指定について
- （2）所管事務調査の協議について

午前 9時27分 開議

○委員長（根岸聡彦君） ただいまから平成29年第4回東大和市議会建設環境委員会を開会いたします。

○委員長（根岸聡彦君） 初めに、座席の指定について、本件を議題に供します。

お諮りいたします。

委員の座席につきましては、ただいま御着席のとおりとしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（根岸聡彦君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

○委員長（根岸聡彦君） 次に、所管事務調査の協議について、本件を議題に供します。

本委員会において、所管事務調査を行うかどうかについて、御協議いただきたいと思えます。

それでは、御意見等がありましたら、御発言をお願いいたします。

○委員（中野志乃夫君） 所管事務調査に関して、建設環境の問題に関してですけれども、今既にハイブラ施設でいろいろ資源化施設で問題になっておりますけれども、今後も小・村・大のほうで焼却炉の建て替えいろいろ動きを、もう既にしていますし、その関連で焼却炉に関係するいろいろなものを勉強させていただきたいと思えますけれども、よろしくちょっと御協議いただきたいと思えます。

○委員長（根岸聡彦君） ほかに御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

○委員（尾崎利一君） 意見というか、質問なんですけど、焼却炉に関してということは、焼却炉単体としてやるということですか。それとも、不燃・粗大ごみやハイブラ施設も含めて、3つ一体でということ考えているのか。

○委員（中野志乃夫君） 私が思っているのは全体です。焼却炉本体だけではなく、確かに不燃・粗大ごみの建て替えも計画上は始まっていますし、既に先ほど言ったように資源化施設のほうは進行していますので、ただいろいろちょっと住民からも、なかなか納得いかないという声もあるので、また今後議会のほうに陳情とか、請願も出るような話も聞いていますので、やはりそのための論議を十分しっかりできるように、そういった調査検討に入れていただきたいということです。

○委員（関田正民君） 中野委員に聞きたいんで、これは賛否をとるということです、いずれは。ただ純粋に、いろいろな面からの各方面からの勉強ということ、知識向上、賛否じゃなくて。

○委員（中野志乃夫君） 一応調査なんで、この委員会が例えば視察に行くときとか、何かのときにそういったものも含んで、検討していただけないかなと。いわゆる最先端の、そういう焼却炉施設でもいいですし、いろいろ資源化施設でもいいですけど、そういったところのことで視察に行つて勉強させてもらえたらありがたいかなと。ですから、その場でこの委員会の中で、そのことで賛否をとるということはないと思えます。あくまでも検討事項なので。

○委員（関田正民君） それだったら、別にその意義があると思うんですよ。ただ、どうせならそれだけじゃなくて、災害のときの環境問題もあるし、下水もあるし、そういうのを含めてどうですかね、環境問題ということで。いずれ台風のときも、いろいろ出てくるじゃない、問題が。だから、そういうことを含めて。

○委員（尾崎利一君） 災害の環境問題もあるけど、総務のほうへぐっと入り込んでいく可能性があるのかなという感じもちょっとするので、災害対応というふうにすると、所管との関係でいうと、ちょっと広げ過ぎに

なってしまうのかなという感じがするんですけど、そこら辺がどうなのかと思います。

私の意見としては、今中野委員からそういうごみ焼却施設、不燃・粗大ごみ、それから資源化施設という3つ一体で所管事務調査でやったらどうかという御意見ですので、それはそれで当面する市が抱えるかなり大きな事業になるので、これだけでもかなりのボリュームになるのかなというふうに思いますので、それはそれでやって、ほかの課題については、また適宜検討していくということはどうかなというふうに思います。

それで、例えば私としては、都市マスタープランや都市計画という関係は建設環境委員会の所管になると思いますけれども、東京街道団地や向原団地の跡地の問題、それからハイブラ施設も都市計画かわってくるので、やりたいなと思っていましたけれども、一番喫緊で大きいというごみ関係の3つの施設というふうになると思いますので、それはそれですまず優先してやるというのがいいんじゃないのかなというふうに思っています。

○委員（関田正民君） 今尾崎委員が言うように、だんだん広がっちゃうんだよね、みんな関係してくる。だから、一番最初に中野委員が言ったことで、1本に絞ったほうが中身が濃くなるのかなと。やっぱり、今尾崎委員が言うように、どんどん広がっちゃって、結局何ができるのかなというふうになっちゃうんで、今中野委員が言った一番最初の案でいいんじゃないですかね、そう思います。

○委員長（根岸聡彦君） ほかに御意見ございますでしょうか。
それでは、暫時休憩いたします。

午前 9時35分 休憩

午前 9時55分 開議

○委員長（根岸聡彦君） 休憩前に引き続き会議を開きます。
お諮りいたします。

本委員会の所管事務調査におきましては、調査項目を市の一般事務に係るごみ行政についてとし、その調査目的を現状と課題を調査することにより、施策の充実に資するためとして、調査方法を担当部課より説明を求める、必要に応じて現地調査を行うこととし、調査期間につきましては調査が終了するまで。

なお、閉会中においても継続して調査することができるものとするということで決定したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（根岸聡彦君） 御異議ないもの認め、さよう決めます。
お諮りいたします。

ただいま決定いたしました所管事務調査を閉会中も継続して調査するため、会議規則第101条の規定により、委員長から議長に申し出を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（根岸聡彦君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

○委員長（根岸聡彦君） それでは、これをもって平成29年第4回東大和市議会建設環境委員会を散会いたします。

午前 9時56分 散会

東大和市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 根 岸 聡 彦